

**2022年6月期**

# 決算ハイライト

株式会社ウイルプラスホールディングス  
東証プライム：3538

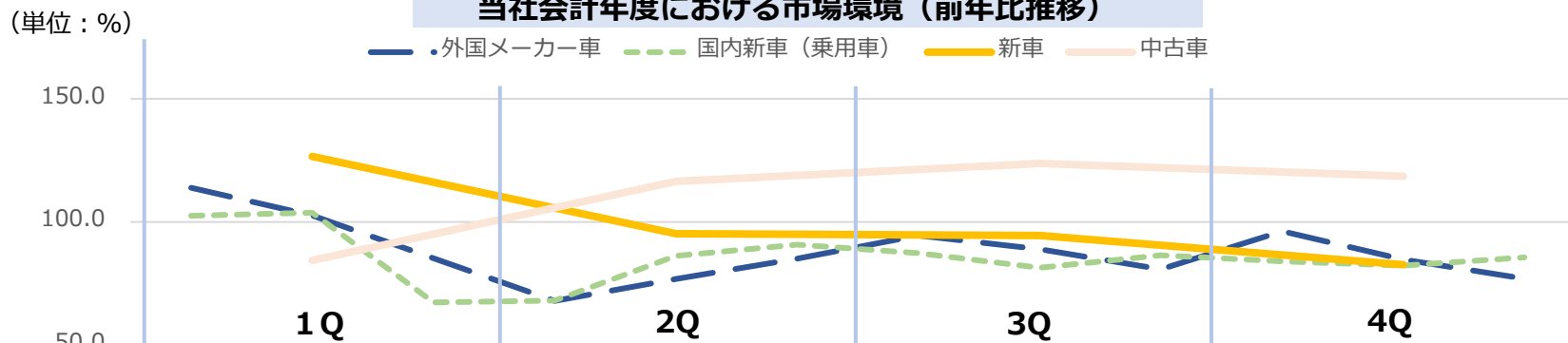
# 市場環境①

## 国内新車販売（外国メーカー車含む）は昨年9月以降低迷



- 国内新車供給（外国メーカー車含む）は、自動車生産の落ち込みに加え、物流の混乱も重なり、前年を15%程度下回る
- 外国メーカーの新車販売も前年を大きく下回ったが、  
**国内市場に占める販売シェアは、10.84%（前年10.68%）と過去最高**
- 当社は期初から市場を上回るパフォーマンスで推移するも、直近は上記による新車供給の遅れが想定より大きく影響
- 今期前半から注力した中古車販売は、非常に堅調。新車販売の落ち込みをカバー  
**車両売上高（新車+中古車）は、会計基準変更前ベースで増収確保（前期比1.5%増）**

当社会計年度における市場環境（前年比推移）



		2021年												2022年												累計
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
国内 新規 登録 台数 (台)	国内新車 (乗用車)	212,707	175,530	169,723	150,608	188,723	191,299	181,926	184,729	284,544	153,509	136,405	169,680													2,199,383
	前年比	102.5	103.7	67.3	68.0	86.2	90.8	87.3	81.4	86.4	84.0	82.2	85.6													84.8
	外国 メーカー車	20,872	18,514	26,677	14,905	17,506	24,238	15,321	17,561	26,297	15,790	17,110	23,674													238,465
	前年比	113.8	102.6	85.2	68.0	76.8	85.1	94.4	88.9	80.7	96.2	84.8	77.0													86.1
当社 車両 売上高 (百万円)	新車		4,967			5,463			4,781			4,750													19,963,367	
	前年比		126.6			95.2			94.4			82.6													97.5	
	中古車		2,438			2,700			2,851			3,224													11,214,187	
	前年比		84.3			116.4			123.7			118.6													109.5	

※会計基準変更前

## 市場環境②

4Q(4~6月)は、月を追うごとに厳しい環境

- ・ウクライナ情勢の深刻化と世界規模の半導体不足が重なり、グローバルで3月、4月の自動車生産が急落  
その影響が色濃く出る**6月の国内外国メーカー車の販売台数**は、物流の混乱による商品の供給の遅れ、停滞も重なり、**前年比77%と急落**
- ・当社もその影響を大きく受け、想定通りに納車ができず、**新車売上高は未達**

### 4~6月の国内外国メーカー車販売台数（登録車）

	4月	5月	6月	4~6月
輸入車	15,790	17,110	23,674	56,574
前年比	96.2%	84.8%	77.0%	84.0%

### 当社の4~6月（4Q）車両売上高

※会計基準変更前の数値にて算出

	新車	中古車	車両売上高(新車+中古車)
前期比	82.6%	118.6%	94.1%

➡ **新車の下振れを中古車がカバーするも、4Qは前年を下回る**

# 市場環境③

需要は引き続き強い 供給制約は徐々に解消

- ・ 6月の国内外メーカー車の供給台数の急落を受け、想定通りに納車ができず、前受金は1,627百万円（前期末比8.9%増）と高水準
- ・ 当社取り扱い輸入車の需要は引き続き堅調
- ・ 今年度に入り、商品供給の問題は徐々に解消しつつある

自動車に対する消費者の関心の高まり ↑

輸送ルート拡充・生産強化 ↑



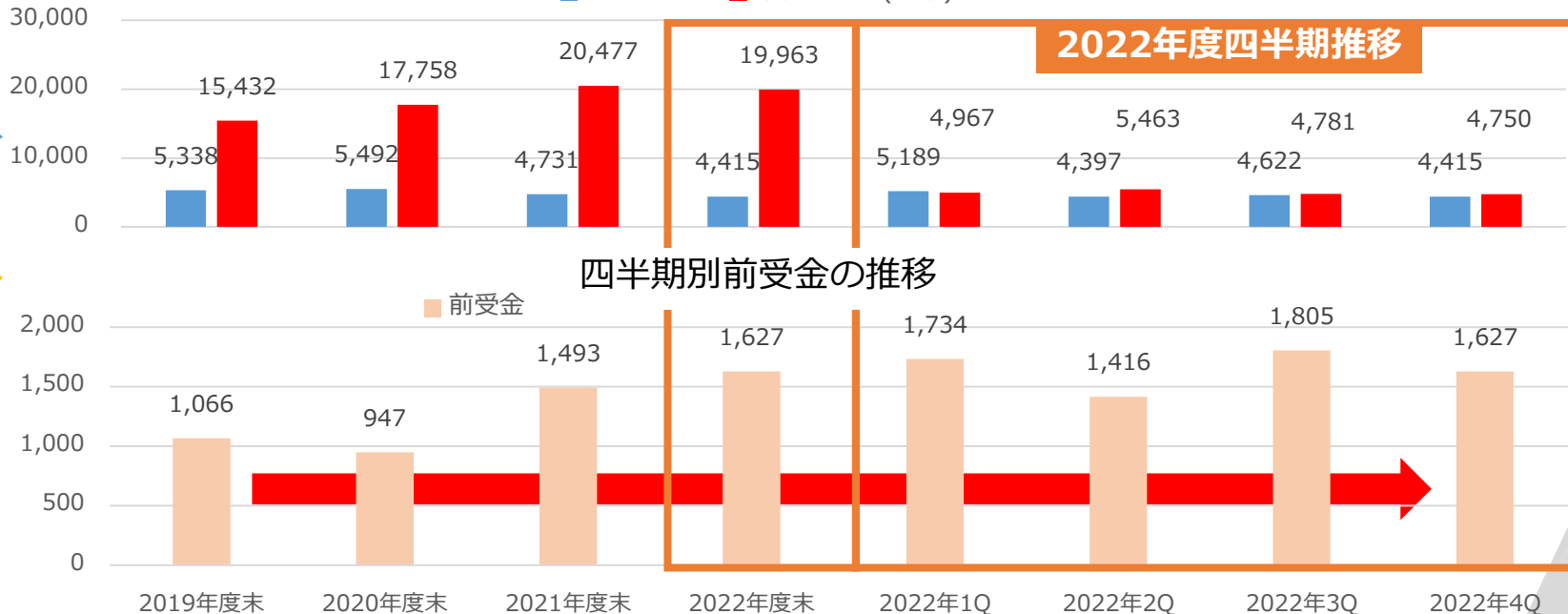
世界的な半導体不足 ↓

(単位：百万円)

四半期別商品金額・車輛売上高の推移

■ 商品金額 ■ 車輛売上高(新車)

2022年度四半期推移



# 連結損益計算書

**2期連続最高益更新**



(単位：百万円)	2021年度	2022年度	増減	増減率	5月発表予想	実績差異率
売上高	40,776	39,696	▲1,080	▲2.6%	41,067	▲3.3%
営業利益	2,290	2,366	+76	+3.3%	2,458	▲3.7%
営業利益率	5.6%	6.0%	+0.4Pt	-	6.0%	±0pt
経常利益	2,301	2,377	+76	+3.3%	2,460	▲3.4%
経常利益率	5.6%	6.0%	+0.4Pt	-	6.0%	±0pt
当期純利益	1,533	1,550	+17	+1.1%	1,607	▲3.6%
当期純利益率	3.8%	3.9%	+0.1Pt	-	3.9%	±0pt

会計基準変更前売上高 **41,345百万円** (前期比1.4%増)  
当社の強みである車輛整備、保険手数料収入の伸びで増益を確保

# 連結業績予想

新車販売の回復を見込み、二桁の増収増益を予想



(単位：百万円)	2022年度 (実績)	2023年度 (予想)	増減額	増減率
売上高	39,696	44,363	+4,667	+11.8%
営業利益	2,366	2,687	+320	+13.6%
営業利益率	6.0%	6.1%	+0.1Pt	-
経常利益	2,377	2,686	+309	+13.0%
経常利益率	6.0%	6.1%	+0.1Pt	-
当期純利益	1,550	1,750	+200	+12.9%
当期純利益率	3.9%	3.9%	+0.1Pt	-
1株当たり配当	34.90円	41.17円	-	-
配当性向	21.4%	22.5%	-	-

# 連結貸借対照表（資産）

(単位：百万円)	2021年度	2022年度	増減額	増減率
流動資産	9,488	11,374	+1,886	+19.9%
現預金	3,376	5,538	+2,161	+64.0%
商品	4,731	4,415	▲315	▲6.7%
固定資産	7,483	7,255	▲228	▲3.1%
建物及び構築物	3,759	3,664	▲95	▲2.5%
資産合計	16,972	18,630	+1,657	+9.8%
総資産経常利益率 (ROA)	13.7%	13.4	▲0.3pt	

## 総資産は1,657百万円の増加

+
 新車供給が不安定なことや、中古車相場の活況により商品が315百万円減少した一方で、  
 現預金が2,161百万円増加

# 連結貸借対照表（負債・純資産）

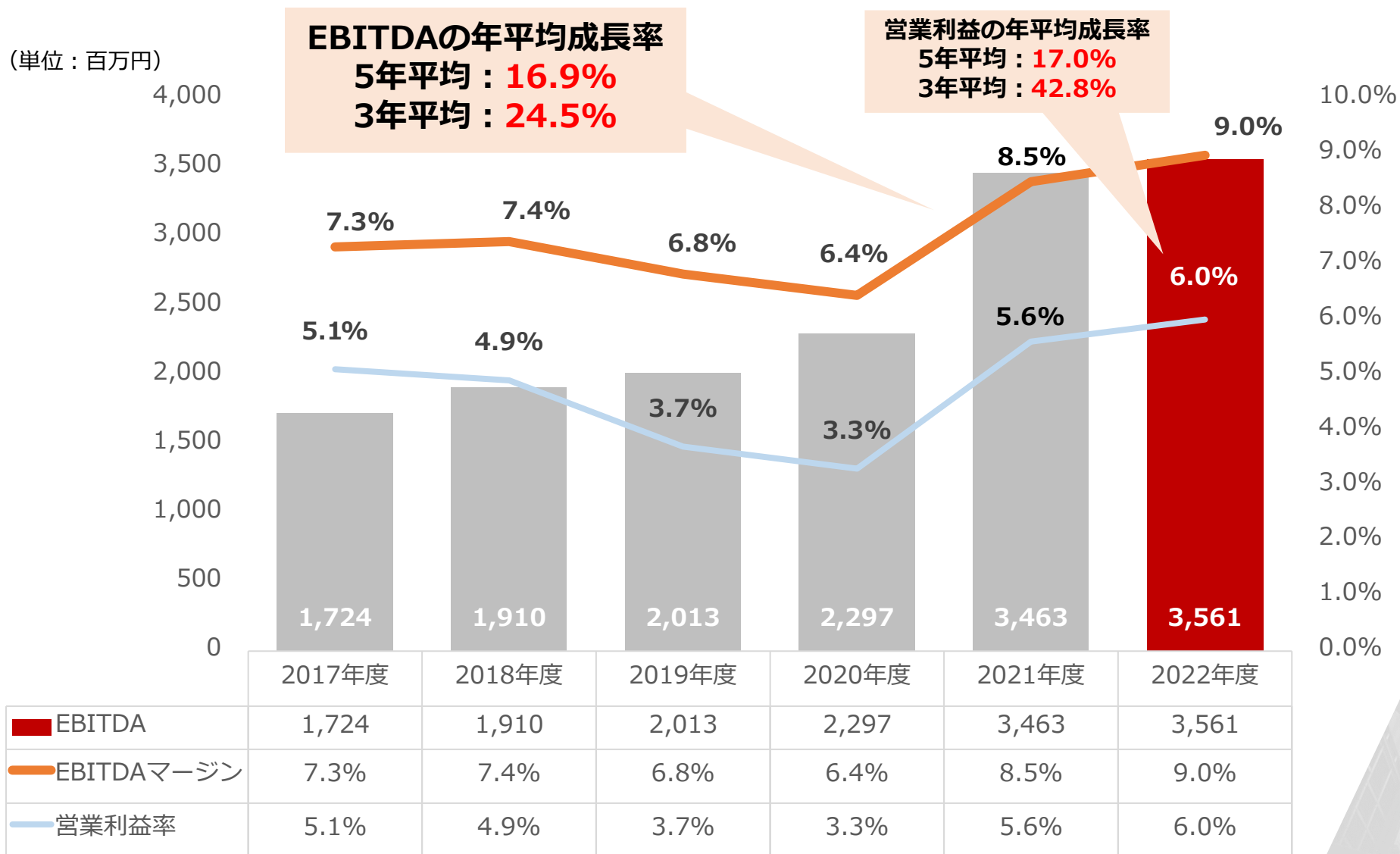
(単位：百万円)	2021年度	2022年度	増減額	増減率
流動負債	8,510	8,254	▲255	▲3.0%
買掛金	1,958	1,793	▲165	▲8.5%
前受金	1,493	1,627	+133	+8.9%
固定負債	930	1,545	+614	+66.0%
負債合計	9,441	9,800	+359	+3.8%
純資産	7,530	8,829	+1,298	+17.2%
自己資本利益率 (ROE)	22.5%	19.0%	▲3.5pt	
自己資本比率	44.4%	47.4%	+3.0pt	

純資産は当期純利益の増加等により、1,298百万円の増加



# EBITDA

## OPマージン、EBITDAマージンともに過去最高



# 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)	2021年度	2022年度	増減額
営業CF	2,890	1,910	▲980
投資CF	▲676	▲217	+458
財務CF	▲1,359	469	+1,829
現金及び現金同等物 増減	854	2,161	+1,307
現金及び現金同等物 残高	3,376	5,538	+2,161

## 営業キャッシュフロー 主な項目

※百万円未満は切り捨てにて表記

- + 税引等調整前当期純利益：2,375百万円、減価償却費：1,121百万円  
法人税等の支払額：927百万円

## 投資キャッシュフロー 主な項目

- + EV対応の充電設備等の固定資産の取得による支出：194万円

## 財務キャッシュフロー 主な項目

- + 長期借入金：1,500百万円、長期借入金の約定返済：678百万円

# 株主還元 前期・今期予想

---

- 前期は、5月発表の業績予想を下回ったものの**34.9円**の配当予想は維持
- 結果として、前期配当性向は**21.4%**まで上昇
- 2期連続**利益成長を上回る配当成長**を達成
- 今期配当性向は、**22.5%**まで引き上げ、  
今期業績予想をベースに配当は**41.17円**を予想
- 段階的に配当性向を引き上げていき、  
更なる株主還元拡充を目指す

# 配当方針の変更

今後4年間は利益成長を上回る配当成長を見込む

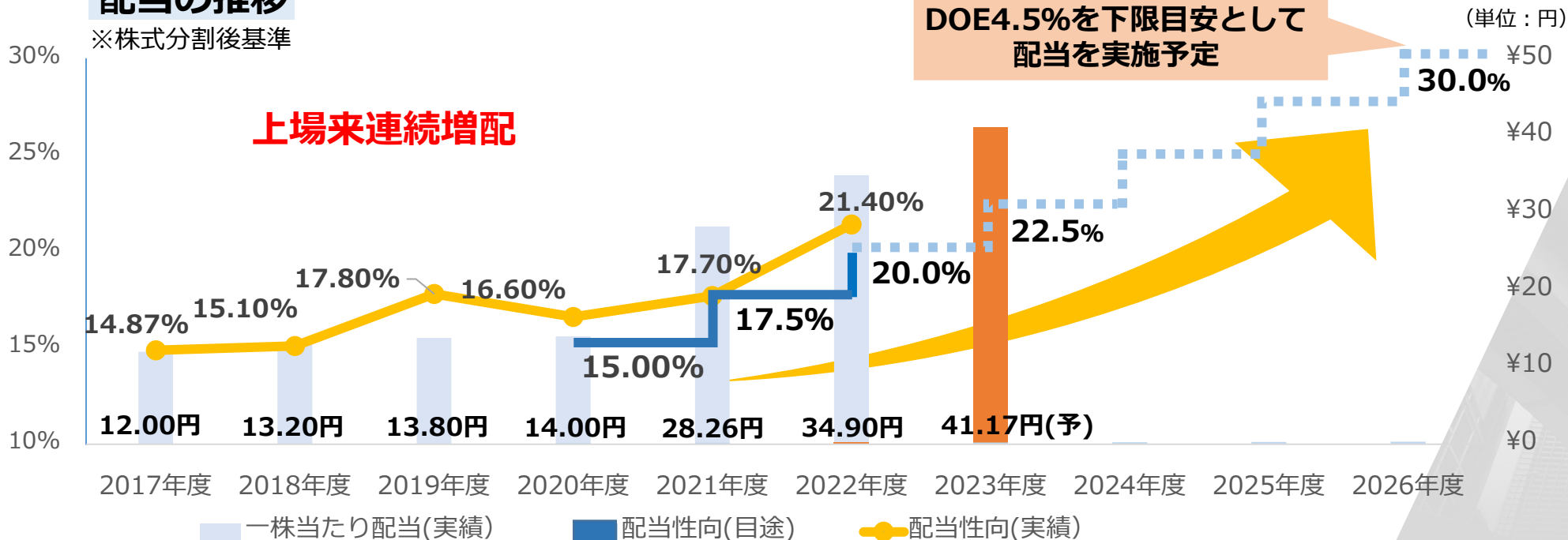


## 配当方針

- ・中長期的に**ROE15%以上**を目標とする（前期19.0%）
- ・「適正資本の維持」及び「株主還元の更なる拡充」を同時実現していくために、**2026年度までに、配当性向を30%まで段階的に引き上げる**
- ・2027年度以降は、引き続き**配当性向30%を配当方針**としながら、**配当の下限はDOE4.5%**を目安に、安定的かつ継続的な利益還元の維持・向上に努めてまいります

## 配当の推移

※株式分割後基準



# 再生可能エネルギーへの切り替え

サステナビリティへの取り組みの一環として、九州エリア・中国エリアの既存17店舗の電力を再生可能エネルギーへ切り替え

新たに策定した導入率目標をもとに、今後も切り替え可能なエリアから順次導入予定

## 再生可能エネルギー導入率目標

基準年を2021年度とし、

- 2022年6月期末までに**40%**
- 2023年6月期末までに**60%**
- 2024年6月期末までに**80%**
- 2025年6月期末までに**全店舗**

への導入を目指す

ジープ福岡西  
JLR北九州  
MINI博多  
Willplus BMW八幡  
ボルボ・カー福岡南  
九州エリア

MINI NEXT周南  
NEW  
中国エリア

- ・ **非FIT再エネ指定**    ・ 温対法
- ・ **非化石化証書**    ・ RE100 に対応
- = 純粋な「再エネ」電気を使用

17 / 34 店舗

# 主要財務諸表及び株価バリュエーション

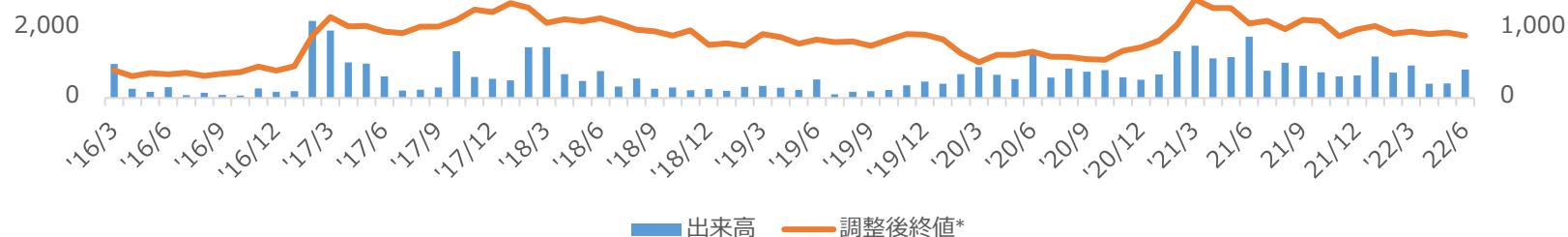
※2022年6月30日時点

主要財務諸表		バリュエーション	
自己資本比率	47.4%	株価収益率 (PER)	4.88倍
自己資本利益率 (ROE)	19.0%	株価純資産倍率 (PBR)	0.97倍
総資産経常利益率 (ROA)	13.7%	EV/EBITDA	2.14倍
営業利益率	6.0%	配当利回り (予)	4.61%

株価・出来高推移

(出来高：千株)

(株価：円)



# 免責事項・お問い合わせ

本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、情報の正確性等について保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせは下記まで

株式会社ウイルプラスホールディングス 経営戦略本部 IR室

E-mail : [ir-info@willplus.co.jp](mailto:ir-info@willplus.co.jp)

電話番号 : 03-5730-0589 (土日祝除く10時00分~17時00分)

URL : <https://www.willplus.co.jp>

# 未来に+ $\alpha$ の喜びを

私たちはお客様に輸入車のある生活を提案し、関わる全ての人々を笑顔に変えていく挑戦を続けます